

エディブル フラワー 栽培工場について



EECでは、エディブルフラワーを閉鎖型植物工場内で水耕栽培する予定です。閉鎖空間で栽培することにより、病気、害虫のリスクを避けられたり、天候や季節に左右されることなく栽培できたりすることから、安定した生産が可能となります。また、栽培管理をシステムで行うことから、種まきから出荷までの作業が平準化され、女性や高齢者、障がい者など、さまざまな方がそれぞれに合った働き方ができることも期待できます。



プロジェクトチームリーダー
市教委生涯学習課 松原 洋 事務主任

プロジェクトチーム リーダーが描く 未来像

私たちは、市民の皆さんが少しでも住みよいまち、住み続けたいまちになるよう、若手職員のエネルギーと志を結集し、このエディブルフラワー・エコシステム・チャレンジという政策アイデアの立案に取り組んできました。

この政策アイデアは、四国財務局徳島財務事務所の若手プロジェクトチームと連携をして、さらに検討していく中で、より具現化できるものとなりました。

エディブルフラワー・エコシステム・チャレンジが評価され、実現に向けて調査・研究を行っていく中で、市の理念である「世代を越えて夢紡ぐまち」のまちづくりに貢献できていると感じることもできました。

今回の政策アイデアでは、主に若年女性や高齢者、障がい者の方が活躍できる雇用場を創出し、廃校を利活用することにより、地域コミュニティの拠点に再びにぎわいが戻る未来をイメージしています。また、市内の食品品製造業にも、エディブルフラワーによる付加価値を生み出し、経済的な波及効果が生み出されることにも期待しています。

今後は、この政策アイデアの実現に向け、私たち若手プロジェクトチームのさらなる努力はもちろん、地域住民・民間・行政が一体となり、より強固な連携のもとエディブルフラワーの推進を図っていくことが必要不可欠だと考えています。皆さんのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

※エディブルフラワーに関する写真は、オーゲツ株式会社から提供いただきました。

エディブルフラワー・ エコシステム・ チャレンジ (EEC) とは

廃校を活用して、エディブルフラワー栽培工場の誘致・整備や、同施設内にエディブルフラワーを活用した商品の加工・販売所などの併設を行う具体的な計画を「エディブルフラワー・エコシステム・チャレンジ（以下、EECといいます。）」と名付けました。このEECの創設により、多種多様な方が活躍できる雇用場を創出し、自走可能な施設を目指します。また、学校再編や認定こども園の整備に伴う廃校などの利活用の課題解決を図ります。

EECの実現により、

女性や障がいがある人、高齢者などが自信とやりがいを感じ、活躍できる雇用場の創出

若い人たちの新規就農のきっかけに

エディブルフラワーと既存産業・店舗などとのコラボにより、新たな付加価値が生み出され、地元の食品品製造業や飲食店への波及効果

エディブルフラワーのまちとしてプロモーションやイベントを行うことなどにより、交流人口が増加

といった、「しごと」→「ひと」→「まち」→…の好循環を生み出し、活力あふれるまちになることを目指します。

現段階では、旧川田西小学校を利活用することを検討しており、実現に向けた調査・研究を行っています。

まずは、エディブルフラワー栽培工場の整備を目指します。

地方創生☆政策 アイデアコンテスト 2018 最優秀賞受賞

このコンテストは、内閣府主催で毎年行われているもので、地域経済分析システムRESAS（リーサス）を使った地域課題の分析結果を基に考案した政策アイデアを競うものです。徳島財務事務所と協働して、今回のアイデアについて「一般の部」に応募し、全国604件の中から、最優秀賞である「地方創生担当大臣賞」を受賞しました。地方公共団体単独での取り組みではなく、さまざまな機関と連携して取り組んでいくという姿勢が、同コンテストで評価されました。最終審査会や表彰式の様子は、下記「公式サイト」で閲覧することができます。



【地方創生☆政策アイデアコンテスト2018 公式サイトURL】
<https://contest.resas-portal.go.jp/2018/>

地域経済分析システム